

SHISEIKAN!

12月号

やんちゃな魔法使い

国語担当：岡田和美先生

10月は翌年のテーマを決めます。2026年は「慈眼(じげん)。「ジゲン」という音には、「次元」の意味も込めました。私が子どもの頃から憧れていた「悟りの世界」を、さらに体現したいと思っています。

11月には翌年の10大目標を立てます。この通信がみなさんの手元に届く頃には、おそらく決めているでしょう。と、独特な世界観で語り始めましたが、1・2学年の国語科を担当しています。やんちゃな57歳です。みなさん、どうぞよろしく申し上げます。

持論、「国語」という教科は日常に活かしてこそ！だと考えています。各分野とつなげることができるのも魅力。ですから授業では単元の内容に合わせて、大人たちが時間とお金を使って「学び直し」していることも伝えています。それだけ「生きる」うえで大事な情報だからです。私の周りで学ぶ大人たちは、「学校で教えてほしかった」と言います。それを叶えているのが自慢です。

私が現在も学び続けているのは「超意識」です。その講座で2024年9月に「ドリームノート」を作りました。そこには100の願いごとを書いています。ほとんど実現しているのですが、「まだ」の中には、熊本日日新聞「読者のひろば」の掲載があります。3年前までは「出したら載る」が当たり前だったのに(笑)。先日、清田先生の記事が掲載されたという知らせを受けて、久しぶりに「書いてみよう」と思い立ち、すぐに仕上げ投稿しました。「ドリームノート」に書いた一つが実現したことを。

10月のこと、世界でもご活躍のベストセラー作家・本田健さんとお会いする機会がありました。福岡でのディナー会です。

みなさん、本田健さんはご存じですか？検索してみてください。こんな有名な人と？そう、一番びっくりしているのは私です(笑)。

私は、次の出版本のタイトルを見てもらおうと意気込んでいました。本の表紙をイメージして印刷し、メモが取れるようにバインダーに挟んで準備していました。

健さんが各テーブルを回られて、お話をされていくわけですが、他の参加者の質疑応答で制限時間がきてしまいました。けれど、このままで終わらせるわけにはいきません。魔法を使わなくちゃ(笑)。運良く健さんが隣の席に座られていたので、そのあとの、写真を撮るまでのわずかな間に、声をかけてアドバイスをもらいました。

健さんからいただいた名刺の裏には、手書きのメッセージがあります。

「夢を生きよう!!」

これには少し自信があります。過去の自分からは想像できない現実を体験しているからです。その力になっているのは、まだ見ぬ世界への「好奇心」です。おかげで現実創造のしくみもわかりました。

ここで、魔法を使う秘訣を教えましょう。それは「決める」ことです。「どうなったら最高？」と自分に問い、「そうなる！」と決めるのです。覚悟とも言えます。「覚悟」は本来、迷いを去り道理を悟ることを意味します。つまり、「悟り」も「魔法」も、実は身近なものなのです。



日	曜	12月の予定
1	月	【1年】二者面談
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	【3年】〈後期〉定期試験 【全学年】味噌天神ボランティア
11	木	↓ ↓ 情報処理検定/始業式
12	金	【高校】創立記念日Ⓜ
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	【1・2年】レポート提出〆切/クリスマス会/終業式 【予備校】〈後期〉終了
20	土	
21	日	
22	月	【予備校】冬期講習〈前期〉
23	火	↓
24	水	
25	木	
26	金	↓
27	土	学校冬期閉館（～1/4）
28	日	↓
29	月	
30	火	
31	水	↓



文字で読む職員室

キヨジイ“たわごと”②



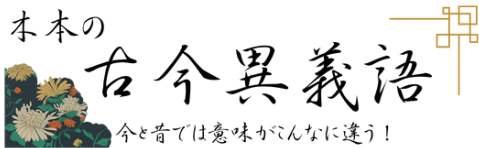
第4回は…「ジイの挑戦は続く…」です。

今年3月に菊陽町で開催された「NHKのど自慢」の予選会出場から7ヶ月。10月に宇城市で行われたので応募し、2度目の予選会出場(何百組→200組)となりました。今回も毎日、歌の練習をし、さらにダンス経験のある高杉先生から振付の指導もしてもらいました。クラスの生徒たちは、応援うちわを作ってくれました。当日は保護者と共に会場に駆けつけてくれました。力及ばず、本選出場(200組→20組)には至りませんでした。夕方のニュースでは私の歌唱シーンが映し出されました♪

先日行われた志成祭では、生徒会の皆さんが、リベンジのために、ステージで歌う機会を作ってくださいました。

そして、合格の鐘まで鳴らしていただきました。63年の人生で一番うれしかったです(^)/ ありがとうございます<m(_)_m>

まだまだ夢はあきらめません。来年こそ本選出場を果たしたいです!



本本の

古今異義語

今と昔では意味がこんなに違う!

古文を勉強している時に、現代語と同じなのに、あれ?と思う単語に出会うことがあります。「言葉は生き物だ」と言われるように、時代や場所によって変わっていくものです。その変化の大きいものを、入試問題では要求されるようです。

その④

「あからさまくなり」<形容動詞>

今は・・・

「露骨だ」「明白だ」

あからさまに、迷惑そうな顔をする。

昔は・・・

「ほんのちょっとした時間」

あからさまに抱きて遊ばしめり。(ほんのちょっとした間、<小さい子を>抱いて、遊ばせた。)

受験生に向けて・・・

これは、「少しの時間、その場を離れる」の場面で、よく使われるようです。「あからめもせず」という、受験生にとって必須の古語は、「わき目もふらず」という意味です。これも語源は同じで、同じ場所で、一つのことに集中している様子です。

カウンセリングのお部屋

森下です。これを書いている11月現在、八代校人吉キャンパスでは全学年、二者面談(生徒・先生)をおこなっています。でもなんだか、改めて“面談”という形式にするとお互いに緊張しますね。“カウンセリング”も然り。まあ全員がそうだというわけではありませんが、取り調べのように感じる生徒もいるようですね。普段、職員室で冗談交りに会話をしているときのほうが、本音を聴くことができるような…。

どんな条件下なら緊張がほぐれるのか、経験から考察してみました。

『目線を外すことができる環境』…例えば、面談時に使用する机の上にカレンダーやティッシュ、インテリアなど何か見ることが出来るものを置くと、相手の目をじっと見て話さなくてもいいので、プレッシャーが軽減されるのかなど。

『“ながら”の会話』…何かを見たり書いたり作ったりしながらの会話は、こちらも目線を合わせなくていいのと、他のことに意識が向くので“会話”に対しての比重が分散されるような気がします。普段は緊張が強い生徒が、行事の際に制作をしている時ならべらべら喋ってくれる、というのがよくあります。

相手のことをもっと知りたい時には、“目的”よりも“会話”を大切にするといいですね。



【味噌天神清掃】

12月10(水) 9:00

志成館 1F 集合

(参加をするとボランティア証明書が発行されます。進学のために必要な生徒は通年で参加をしましょう。)

【献血の街頭呼びかけボランティア募集】

下通り献血ルームCOCOSAを通じて、街頭での献血者募集の呼びかけボランティアを行います。募集の呼びかけを、合計6時間以上行うことで「ボランティア活動証明書」が発行されます。継続的に参加をしましょう。

<集合> 志成館(10時には集合してください)

<活動時間> 10:30~11:30(水曜日のみ)

※始めて参加する方は活動の前に30分のレクチャー動画を視聴してもらいます。

※交通費は各自負担です。

具体的な日付に関しては、申し込みが確定次第決定します。

参加したい場合は担当(甲斐先生 080-9410-9017)までご連絡ください。

ぐるぐる回ワ

令和7年度9回目の今回は、志成祭の様子をお見せします！
それでは、レッツぐるぐるウォッチっち！



土曜日の開催だったこともあり、非常に多くの方にお越しいただきました。
生徒たちは志成祭の準備にも後片付けにも積極的に参加してくれました！ありがとうございました！
思い出に残る志成祭になりましたね。



志成館

日本航空高校【熊本キャンパス】
志成館高等学院
志成館【高認受験科】
志成館【大学受験科】



〒862-0973 熊本市中央区大江本町7番3号 (味噌天神バス停徒歩0分/味噌天神となり)
TEL 096-366-1008 FAX 096-371-3871 ホームページ URL: <https://www.siseikan.net>